

感染症看護専門看護師の活動

中川 仁美

日本医科大学付属病院感染制御部

Roles and Activities as a Certified Nurse Specialist in Infection Control Nursing

Hitomi Nakagawa

Division of Infection Control and Prevention, Nippon Medical School Hospital

(日本医科大学医学会雑誌 2014; 10: 147-148)

1. はじめに

平成 24 年 4 月の診療報酬改定により、医療安全対策加算の中に組み込まれていた感染防止対策加算は、この改定より独立して新しい加算項目として設定されました。平成 24 年度診療報酬改定関連通知第 2 部通則 7 では従来までの規定する院内感染防止対策を行った上で、さらに院内に感染制御のチームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止などを行うことで院内感染防止を行うことを評価するものです。各医療機関における感染防止対策の評価の充実、推進が図られることが目的とされています。これまで医療機関ごとに行われていた感染対策について、医療機関同士で感染防止対策を評価しあうことにより、客観的に現状の感染対策が評価されることで、より有効な感染対策へと強化されていくことが期待されています。

2. 感染症看護専門看護師とは

感染症に対して接する看護師には感染症看護専門看護師と感染管理認定看護師の 2 種類があり、それぞれに求められるものは異なります。感染管理認定看護師は、医療関連感染サーベイランスの実践や各施設の状

況の評価と感染予防・管理システムの構築など 3 つの役割（実践・指導・相談）を果たすことが目標とされています。

一方、感染症看護専門看護師は、日本看護協会が 2006 年に制定した専門看護師であり、ほかの専門分野に比べ、かなり新しい分野であるため、2014 年 1 月 28 日時点で 30 名の登録者数である。役割としては複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、感染看護分野の知識および技術を深めたものであり、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の 6 つの役割を果たすことが求められます。

3. 当院での感染症看護専門看護師の役割と活動

現在は、感染制御部専従看護師として従事し、病院内すべての感染管理を担い、ICT ラウンドにおける現場指導や相談対応を行っています。また、教育活動などは看護師だけでなく、医師や薬剤師、検査技師などの専門職および事務職とも連携を図りながら進めています。

感染症看護専門看護師としては、主に高度救命救急センターといった感染対策上ハイリスクな患者の多い病棟に対し、定期的なラウンドにおける現場指導や病棟会、医局会での院内の感染対策情報の情報提供や手

Key word: Certified Nurse Specialist in Infection Control Nursing

Correspondence to Hitomi Nakagawa, Division of Infection Control and Prevention, Nippon Medical School Hospital, 1-1-5 Sendagi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8603, Japan

E-mail: nakagawa@nms.ac.jp

Journal Website (<http://www.nms.ac.jp/jmanms/>)

指衛生と個人防護具着脱演習指導などを行っています。しかし、感染管理を厳重に行う反面、対象となる患者の健康問題や倫理的問題に関してはなかなか十分にかかわることができていないのが現状です。

4. 今後の課題

感染症看護専門看護師として、感染問題を抱える患者個人の健康状態や生活環境のアセスメントを行い、患者の持つ問題に対して積極的に介入し、日常生活を支援する必要があると考えます。また、薬剤耐性菌分

離患者や医療関連感染の対策が必要な患者に対し、ICT との連携を図りながら、個別性を尊重し、看護計画の立案や看護手順の評価など幅広い視点で効果的な看護が提供できるように、看護スタッフ中心の支援を行い、院内感染サーベイランスに基づいた感染対策の実践と専門的知識や技術の提供など質の高い医療を推進できるよう支援を行っていく必要があると考えます。

(受付：2014 年 2 月 14 日)

(受理：2014 年 4 月 9 日)
